



歯周病の治療と予防には歯石除去が 欠かせません

歯石の原因と影響

歯石の原因となる プラークが付着



プラーク（歯垢）は細菌の集まりで、口の中の清掃が不十分な歯の表面に付着します。プラークが唾液に含まれるカルシウムなどによって石灰化して硬くなると歯石になります。そのためプラークが歯石になる前に、丁寧な歯磨きで取り除くことが大事ですが、どうしても磨き残しは出てきてしまいます。

**丁寧な歯磨きで
取り除くことが大事**

歯周病の原因となる 歯石が付着



歯石の表面はザラザラしていて無数の穴やくぼみがあるため、細菌が付着しやすく歯周病の原因になります。歯石は歯磨きでは取れないため歯周病を予防するためには、ついた歯石を歯科医院でこまめに取る必要があります。

**歯石は歯磨きでは
取れない**

歯石が付いた状態は 歯周病が進行する



歯石の穴やくぼみが歯周病菌の足場となり、毒素を出し続け歯周病を悪化させます。歯磨きでは歯石の穴やくぼみに入り込んだ歯周病細菌を落とすことは不可能です。歯周病を悪化させないためには、早めの治療（歯石除去）が必要です。

**歯石は歯周病を
悪化させる**

全身に影響

歯周病の細菌や毒素が血管に入り込んで体中を回って悪さをし、全身の病気を引き起こす原因になることもあります。

歯周病が
悪化すると

歯を失う

むし歯の場合、むし歯が酷い歯だけ抜くことになりませんが、歯周病の場合歯を支えている骨が下がってしまうため、数本同時に歯を失うパターンが多いのが特徴です。



歯石は口臭の原因になる

歯石の表面には常に汚れや細菌がくっついているため、歯磨きをしても口臭がひどくなります。また歯石がついていると歯茎の溝（歯周ポケット）が塞がれる形となり歯茎の中の酸素が少ない状態になってしまいます。そうすると酸素を嫌い悪臭のガスを放つ細菌が増えてしまいます。

定期的に歯石除去を

歯石というのはつきやすい人、つきにくい人がいます。これは体質的なものが関係している場合もあれば、お手入れの良し悪しが関係している場合もあります。歯石自体は無害ですが、歯石に付着した細菌は歯周病の原因になります。歯周病が進行するとお口の中だけでなく、体を健康に保つためにも定期的に歯科医院で歯石を取りましょう。

予防大切ね



DADDY YANKEE

